

## ライトダウン南部市民センター会場報告

星空を守る会 大友 哲

ライトダウン甲府バレー南部市民センター会場では、昨年と同様に、手作り望遠鏡教室を開催しました。昨年は夜の部だけの開催で、しかも定員が10名だったため、参加出来ない方がいらっしゃいました。そのため、今年は午後3時の昼の部と夜の部の2部制として開催しました。また講師として林宏明さんをお願いしました。

夜間の星空観察は32cmの反射望遠鏡(ドブソニアン)で行ないました。望遠鏡のセットと星の説明は大友が担当しました。夕方5時半頃より星が見え始め、会場に早くから参加された皆様に木星とそのガリレオ衛星をご覧頂きました。またFM甲府のみなさまにも望遠鏡を覗いて頂きました。やはり晴れて星が見えている夜のほうが、ライトダウンの生放送も内容が充実していました。ラジオの聴取者のみなさまにも、星に関して知識を深めてもらえたと思います。

昨年に比べて夜の部の参加者が少なかったため、全員が望遠鏡を覗く事が出来ました。FM甲府の各会場からのレポートでは、白鳥座のアルビレオが見えているかしゃべることが事前に決まっていたのですが、昨年は曇っていて星は見えませんでした。今年はアルビレオをはっきりと確認出来ました。会場の参加者の皆様に二重星アルビレオを覗いてもらった後、ペルセウス座の2重星団、こと座のリング星雲を観察しました。しかし後半には雲が多くなってきてしまいました。最後にみんなでビンゴゲームをしました。全員に双眼鏡をはじめその他の豪華景品が行き渡りました。

ライトダウン前後の空の状態ですが、会場周辺は街灯も少なく、ライトダウン前から良く星が見えていました。しかし甲府の中心方向は極端に明るく、ライトダウン後もまだかなり明るく見えました。8時になるとナイターが1つ2つと消えていきましたが、完全には暗くなりませんでした。甲府中心部と反対側の南方向は、かなり暗く天の川が見える可能性がありましたが、曇っていて確認は出来ませんでした。

今後の課題ですが、ライトダウン当日だけ暗くするのではなく、夜空に光の漏れない街灯の普及などに努めて行きたいと考えています。それにより天の川の見える甲府の街を実現したいと思います。



林宏明さんによる望遠鏡づくり教室



ビンゴによる抽選会